

第58期 環境活動レポート 2015

山陽製紙株式会社



発行：2016年7月31日

更新：2016年8月31日

活動期間：2014年10月1日～2015年9月30日

ご挨拶

「紙創りを通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献すること」
を基本理念として、日々精進しております。

どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、その為に自然を守る活動や地球環境負荷低減活動に全社員で積極的に取り組む会社でありたいと思います。

エコアクション21の活動を通して、より一層の理念の浸透を目指します。

山陽製紙株式会社 代表取締役 原田 六次郎

経営理念

『私たちは紙創りを通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献します』

- ・ 私たちは希少価値のある紙をお客様と共に創ります
- ・ 私たちはお客様と共に成長発展することを喜びとします
- ・ 私たちは資源として使った地球の財産を守り、再生し 循環型社会に貢献します

人事理念

- ① 人を大切に ② 自然を大切に ③ 物を大切に ④ 時間を大切に ⑤ 感謝の心を大切に

環境方針

山陽製紙は地球を守ることが全人類の最重要課題の一つであることを認識し、
どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、
環境問題に全社員で積極的に取り組みます

〈環境保全への行動指針〉

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 循環資源を活かし環境に配慮した製品(梅炭)の開発・販売促進
- ⑤ グリーン購入を推進し、環境に配慮した資材の購入に努める
- ⑥ 化学物質について適正管理を行います

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取組みを環境レポートとして、とりまとめ公表します。

制定日：2007年11月13日

改訂日：2014年10月01日

山陽製紙株式会社
代表取締役

原田六次郎



◇ 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

山陽製紙株式会社 HP (ホームページURL): <http://www.sanyo-paper.co.jp>
代表取締役 原田 六次郎

(2) 所在地

本社及び工場 〒590-0526 大阪府泉南市男里6-4-25
電話:072-482-7201(代) FAX:072-482-7204

東京営業所 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-10 大蔵ビル6階3号室
電話:03-5777-7422 FAX:03-5777-7423

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者: 生産部門長 中野 晴夫
事務局: 研究開発室 係長 橋本 正樹
電話:072-482-7201

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス

(5) 事業の規模

製品売上高 9億8千万円
主要製品生産量 3,676 トン/年
従業員数 43名



	本社	工場	東京
従業員数	12名	30名	1名
敷地面積	約377㎡	約9,300㎡	—

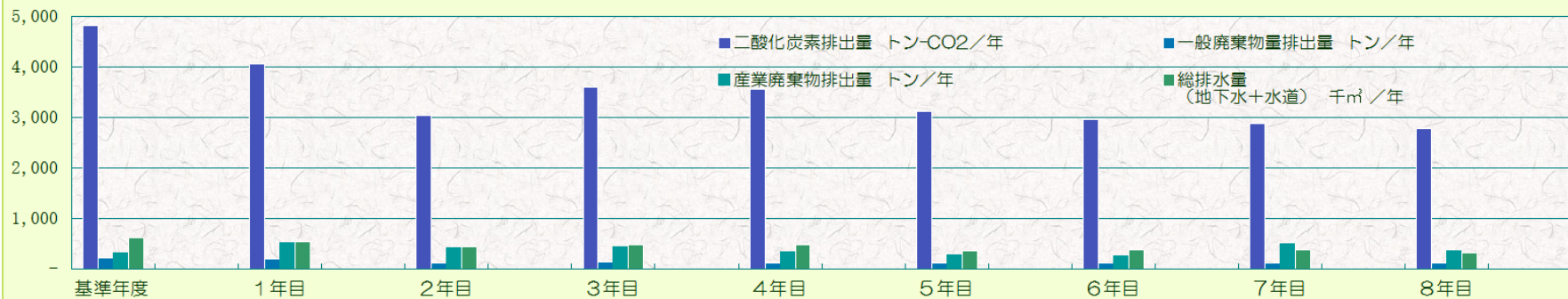
(6) 事業年度 第58期 (2014年度: 2014年10月1日 ~ 2015年9月30日)

◇ 主な環境負荷の実績

※「1t-CO²」で、25mプール(平均)約1杯分の体積

項目	単位	第50期(2006年) 基準年度	第51期(2007年) 1年目	第52期(2008年) 2年目	第53期(2009年) 3年目	第54期(2010年) 4年目	第55期(2011年) 5年目	第56期(2012年) 6年目	第57期(2013年) 7年目	第58期(2014年) 8年目
二酸化炭素排出量	トン-CO ₂ /年	4,829	4,056	3,055	3,610	3,566	3,121	2,966	2,895	2,785
一般廃棄物量排出量	トン/年	231	216	123	143	134	136	134	136	133
産業廃棄物排出量	トン/年	333	518	427	445	346	277	264	506	360
総排水量 (地下水+水道)	千m ³ /年	617	555	438	493	484	364	381	383	317

2006-2014環境負荷数量



各部署での取組み(2014年度)

CO₂ 排出削減

- ・電力の削減 (生産高あたり使用量の削減)
- ・ボイラ燃料削減
- ・リフト燃料削減

工場

- ・電力の削減
- ・自動車燃料削減

事務所

- ・電力の削減 (データ収集中)

東京営業所

水資源の 節水

- ・放流水の削減 (生産高あたり使用量の削減)
- ・水道水の削減

工場

- ・水道水の削減

事務所

- ・水道水の削減 (データ収集中)

東京営業所

廃棄物 削減

- ・一般廃棄物削減
- ・産業廃棄物削減

工場

- ・一般廃棄物削減

事務所

- ・一般廃棄物削減 (データ収集中)

東京営業所

グリーン 関係

- ・グリーン調達
- ・工場立地法対策
- ・飲料水缶分別

工場

- ・環境に配慮した製品の販売促進
- ・グリーン購入

事務所

- ・環境に配慮した製品の販売促進
- ・グリーン購入

東京営業所

◇ 環境目標及びその実績(全社)

上段 : 実績値
下段 : 対基準年度削減量(%)

年度		2006年 基準年度	2014年 (目標)	(実績)	2015年 (目標)	2016年 (目標)	
生産量		kg	4,919,457				
二酸化炭素排出量削減	電力削減(工場)	排出量 (kg-CO2)	1,752,921	1,350,000	1,131,655	1,350,000	1,300,000
				-23.0	-35.4	-23.0	-25.8
	電力の生産高当りの削減 ※1	(kWh/ Kg)	0.943	0.886	0.811	0.886	0.886
				-6.0	-14.0	-6.0	-6.0
	リフト燃料の削減	(kg-CO2)	24,513	16,660	15,285	16,660	16,660
				-32.0	-37.6	-32.0	-32.0
	ボイラ燃料の削減	(kg-CO2)	2,951,732	1,727,100	1,625,628	1,679,536	1,679,536
				-41.5	-44.9	-43.1	-43.1
電力削減(本社事務所)	(kg-CO2)	10,439	7,000	6,861	7,000	7,000	
			-32.9	-34.3	-32.9	-32.9	
自動車燃料の削減	(kg-CO2)	15,014	8,258	5,514	8,258	8,000	
			-45.0	-63.3	-45.0	-46.7	
二酸化炭素排出量合計		(kg-CO2)	4,754,619	3,109,018	2,784,943	3,061,454	3,011,196
				-34.6	-41.4	-35.6	-36.7
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減(工場)	(Kg/年)	231,150	133,770	132,940	133,770	133,770
				-42.1	-42.5	-42.1	-42.1
	産業廃棄物の削減(工場)	(Kg/年)	307,350	300,000	359,550	300,000	300,000
				-2.4	17.0	-2.4	-2.4
一般廃棄物の削減(本社事務所)	(Kg/年)	392.4	353	370	353	353	
		07年暫定基準	-10.0	-5.7	-10.0	-10.0	
廃棄物排出量合計		(Kg/年)	538,500	433,770	492,490	433,770	433,770
				-19.4	-8.5	-19.4	-19.4
節水	放流水の削減 ※2(工場)	生産高当削減 (ml/Kg/年)	0.125	0.1	0.079	0.100	0.100
				-20.0	-36.8	-20.0	-20.0
		(ml/年)	616,221	381,731	314,841	381,731	380,000
				-38.1	-48.9	-38.1	-38.3
	水道水の削減(工場)	(ml/年)	3,267	2,200	2,549	2,200	2,200
				-32.7	-22.0	-32.7	-32.7
水道水の削減(本社事務所)	(ml/年)	1,104	120	116	120	120	
				-89.1	-89.5	-89.1	-89.1
総排水量合計		(ml/年)	619,488	383,931	317,390	383,931	382,200
				-38.0	-48.8	-38.0	-38.3
環境に配慮した製品の販売促進		売上高 (千円)	4,247	35,000	37,261	35,000	40,000
		07年暫定基準		724.1	777.3	724.1	841.8



※1、※2は生産高あたりの評価で使用します。
 電力排出係数 = 0.378 kg-CO2 / kwh (59期より係数変更の上、活動します。)
 グリーン購入については、54期(2010年度)より取組み中ですが、評価方法について策定中。
 2015年の目標値は、2014年度実績より見直した値で、生産量を同等と想定したものです。
 ※東京営業所は電気・水道のメーターが無く把握出来ません。(テナントの為)

◇ 環境活動の取組み計画と評価(工場)

取組み計画	達成状況	単位 基準年度比	評価(結果と今後の方向)
ボイラ燃料の削減	基準年度	2,951,732 Kg-CO2	目標達成
ガス使用量のデータ収集	目標	1,727,100	58.51%
蒸気漏れの保守点検・保温材装着	実績	1,625,628	55.07%
効率の良い抄紙機運転			
			目標達成! 各担当者の意識の向上もあり、保温材取り付け、抄物に 応じて蒸気圧調整、蒸気使用方法など今後の活動として、改善実施 していく。(今期から基準値も改めて設定、重油ボイラーから都市 ガスボイラーに変更し、生産を始めた2010年からの平均値を基に データベースを作成しました。)
「電力」の生産高当たりの使用量削減	基準年度	1,752,921 Kg-CO2	目標達成
歩留向上 製造損紙率低減 加工ミス削減	目標	1,350,000	77.01%
電灯の数を減らす 不要電灯消灯	実績	1,131,655	64.56%
蛍光灯の変更 明かり窓の設置	基準年度	0,943 Kwh/Kg	
冷暖房の控えめな使用(冷28℃暖20℃)	目標	0,886	93.96%
	実績	0,811	86.00%
			目標達成! 電力を効率的に使用する改善活動や、再省エネ診断によるモーター 仕様変更(3S改善)などもあり、削減活動に貢献できた。今後も 削減効果のある活動の推進に努める。
排水放流の生産高当たりの使用量削減	基準年度	616,221 m ³	目標達成
歩留向上 加工ミスの削減	目標	381,731	61.95%
各ポンプのバルブ操作による削減	実績	314,841	51.09%
雨水の再利用使用水量削減の改善提案募集	基準年度	0,125 m ³ /年	
	目標	0,100	80.00%
	実績	0,079	63.20%
			目標達成! EA21発足以来の改善の成果がようやく結果に繋がった ところです。今後、排水設備の更新などを計画しており、生産量に みあった水使用量・排水量を削減できる画期的な改善活動をしてい かなければならない。
リフト燃料の削減	基準年度	24,513 Kg-CO2	目標達成
電気リフトへの変更	目標	16,660	67.96%
急加速・急発進の防止	実績	15,285	62.35%
倉庫レイアウトの見直し・変更			
通路の確保			
			目標達成! 製品出荷量が運動するだけに、半製品横持ちの倉庫間の 移動が多く、動線の見直しが必要。来期はレイアウト変更による効 率性と安全性を強化し、目標達成をしたい。



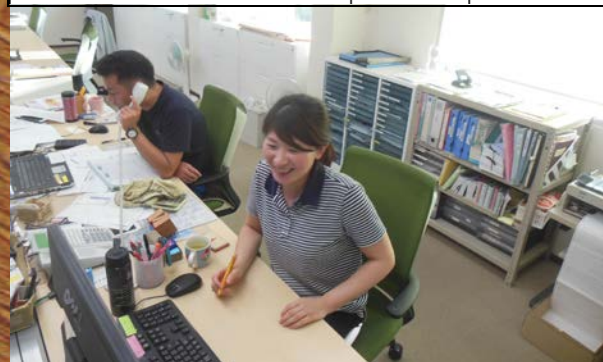
◇ 環境活動の取組み計画と評価(工場)



一般廃棄物の削減		基準年度	231,150 Kg	目標達成
弁当の割り箸をなくす	目標	133,770	57.87%	目標達成！3S改善活動などでの不要物の処分などで、一時的に増加した事があるが、その後安定。末期は3Sに絡めながら整理整頓をし、分別意識を徹底する。
工程ロスの削減(歩留向上)	実績	132,940	57.51%	
ポリラミ換紙目方の現状把握				
リサイクル先の開拓				
産業廃棄物の削減		基準年度	307,350 Kg	目標未達成
原料流出の防止	目標	300,000	97.61%	未達成！抄紙工程でのトラブル、原料内不純物、ポンプからの原料洩れなども一因。又トラブルによる原料流出なども含まれる為、職場環境の整備など共有し、トラブルを未然に防ぐようにしていかなければならない。今期から産廃業者も一部変更し、循環型での二次利用に繋げていく計画が立てる事が出来たが、弊社での項目は「産廃」になる為、今後も削減出来る改善をしていく。末期は今期実績を基に徹底した削減を目標に、再資源化などの処理も併せて検討する。
各ポンプ類の点検	実績	359,550	116.98%	
分別回収 購入原料の見直し				
節水(水道水)		基準年度	3,267 m ³	目標未達成
節水の呼びかけ	目標	2,200	67.34%	設備で使用している配管や、水が流れている全工程での緊急対応が難しく、地下などの配管には気付きにくい。今後の削減活動は、3Sを取り入れ、どこに何があるか、わかりやすく見える化し、使用設備や使用方法と個人の意識付けを強化する。
雨水の利用	実績	2,549	78.02%	
グリーン調達の推進 その他				
環境への負荷が少ない原材料の購入と、設備更新時の省エネ設備の設置。				活動実施内容 ①環境を配慮した薬品・染料購入。 ②設備更新時に省エネ設備を設置。 ③環境対策に関する情報の入手。 ④エコ検定受験により、今期合格者1名。 ⑤eco啓蒙活動 ⑥CSR検定受験 初回合格者11名 ⑦エコキャップ活動 初回800個
※緑化計画の推進や、エコキャップ活動による再資源化と途上国の子供たちへのワクチン提供活動に参加しました。 その他：工場立地法を含めた対策と改善				
				・社内環境改善活動(3S)を中心に、eco素材の商品・資材を購入/使用を目標に掲げる。 ・材料・器具・用品にグリーンマークがある商品の購入。
[総括]				
・CO2削減	:	全体としては目標達成出来ており、CO2削減傾向にあるものの、改善意識がまだまだ低い。生産高当たりでの管理で、更なる意識向上とロス削減対策を委員会と協議・具体化する。		
・廃棄物の削減	:	全体的にはゴミ分別の意識が高くなってはいるが、量が増えてしまった。(3S活動の影響)トラブルなどの原料洩れ等の問題点が明確なものに対する対処を早急に行う意識など必要。産業廃棄物の再資源化を踏まえた処理法も併せて検討する。(廃プラ含む)		
・排水量の削減	:	排水処理の問題で循環利用率を上げており、生産高の影響と併せて排水量は減少傾向にあるが品質維持の点で限界がある。 今後は排水設備計画もあり、工場排水の水量対策が必要。		

◇ 環境活動の取組み計画と評価(本社事務所・東京営業所)

取組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価(結果と今後の方向)
	基準年度			
電力の削減	基準年度	10,439	Kg-CO2	目標達成
不在時消灯の徹底	目標	7,000	67.06%	事務所内照明に於いての改善活動(個別電灯)、夏場冬場のエアコン使用のルール化など、実践していく事で対策できたが、今後は継続しながら更なる改善がないか委員会などを共有の場にして、協議していきたい。
冷暖房の控えめな使用 (冷28℃、暖20℃)	実績	6,861	65.72%	
不在時のパソコン電源オフ				
一般廃棄物の削減	基準年度	392	Kg-CO2	目標未達成
ロス荷札ラベルの有効利用	目標	353	90.01%	紙ごみの再資源化(分別回収)は徹底しているが、3S活動の影響もあり、廃棄も多く、ルールと目的を認識しながらの活動が望ましい。※廃注をまとめて行い、簡易包装にして頂くように業者には伝えているので、包装ゴミも減らしていけるように工夫します。
缶・ビン・PETボトルの分別回収	実績	370	94.29%	
事務所一般ゴミ分別回収の徹底				
水道水の削減	基準年度	1,104	m ³	目標達成
節水表示による意識向上	目標	120	10.87%	限界数値にきているが、各所水漏れ点検、トラブル時などの対応の強化は必要。 末期目標も同様に、使用量のデータ分析を行いつつ、削減活動の継続を行なう。
	実績	116	10.51%	
環境配慮製品の販売促進	基準年度	4,247	千円	目標達成
梅炭クレープ紙の拡販	目標	35,000	824.11%	売上目標も達成したが、引き続き販売計画・売上確保を目指します。ギフトショーなどの展示会参加も増え、認知度も上がってきていますが、HP活用による環境貢献活動も含め、改善出来るようにしていきます。
循環型製紙の企画提案と営業強化	実績	37,261	877.35%	



◇ 環境活動の取組み計画と評価(本社事務所)



自動車燃料の削減	基準年度	15,014	Kg-CO2	目標達成
アイドリングストップ	目標	8,258	55.00%	燃費(=走行距離/ガソリン給油量)を考え、データ化し、営業車3台での活動にも、意識の向上が見受けられる。今後も効率の良い運転、公共機関の利用促進で削減を図る。 ※交通ルール・社内ルールを守る事が大切。決めた事を守って意識の共有をしていきたいと思う。
急加速、急停止の防止	実績	5,514	36.73%	
不要な荷物は積まない				
月当たりの走行距離調査				
不要な荷物は積まない				
グリーン調達の推進 他				
グリーンマーク、エコマーク商品など、環境への負荷が少ない環境配慮型商品を購入する、及び環境配慮への取り組みなど。	<ul style="list-style-type: none"> 社内環境改善活動(3S)を中心に、eco素材の商品・資材を購入/使用を目標に掲げる。 材料・器具・用品にグリーンマークがある商品の購入。 			ボールペン、マジック、のり、テープ、修正テープ、各種詰め替え用、紙ファイル、クリアファイル、リサイクルトナー、省エネ家電購入など。全部で18品目の購入など。来期も購入ルール実施により、無駄なコストを削減、且つecoであるように推進していきます。

[総括]	
・CO2削減	電力・水使用量はほぼ限界に近づきつつある。 車使用は営業担当者以外(3S関係・見学会等)も増え、効率よく運転を心掛ける。 燃費換算では前期より数字も良く、遠方へは公共交通機関の使用が増えてきている。
・廃棄物の削減	紙ごみの再資源化(分別回収)が徹底してきた。 KAMIDECO(カミテコ)との兼合いもあり、細分化等も活動に盛り込む。 3S活動をする際に今まであった物を廃棄する事が多く、ここ2、3年増加の傾向がある。
・排水量の削減	「節水」表示による意識付けと、まとめ洗いにより今後も無駄な使用を控える。
・環境商品の販売促進	目標達成。炭再生紙や循環型製品以外にもKAMIDECO(カミテコ)製品もあるので 目標計画の設定と活動内容を詳細にし、循環型製紙を含め企画提案を更に進める。

KAMIDECO(カミテコ)を中心に、今後もより良い循環型製紙の商品創りを目指します。

◇ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制

適用される施設等

廃棄物処理法

一般廃棄物、産業廃棄物

騒音・振動規制法

抄紙機、印刷機、空気圧縮機、スリッター

水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置

抄紙機、排水処理設備

公害防止組織法

排水処理設備

大阪府生活環境条例(大阪府地下水汲み上げ制限)

製紙用水

消防法

原料置き場、少量危険物貯蔵所

フロン回収破壊法

スポットクーラー、空調機

毒物劇物取締法

抄紙用薬品類

遵守評価の結果、遵守されています。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。
工場立地法の届出を随時予定しています。(緑化面積の問題)

◇ 総括～代表者による全体評価と見直しの結果～



第58期の環境活動への取り組みは電力、燃料による二酸化炭素の削減については昨年度に続いて共に目標をクリア出来ました。

依然として電力、ガスの高騰が続き、58期は収益的にも非常に厳しい経営環境ではありましたが、製造部門における抄速UPなど、生産性の向上が図られて、収益性の向上に大きく貢献できたことは喜ばしい事です。

産業廃棄物の削減に関しては、セメント工場において製紙スラッジの有効利用が図られ、処理費用は削減出来ましたが、量的には当初の削減目標には至っていません。

分別を強化してゼロエミッション化を目指します。

又、懸案であった放水量の削減も目標を達成出来ましたが、58期以降には排水処理設備の更新を計画しているので継続して削減に努力する事。

そして、今後の当社のCSRの取り組みは、他企業との差別化を図る上に欠かせない事項であるので、「エコ検定、CSR検定」は山陽製紙の社員の必要条件として積極的に取り組んで頂きたい。

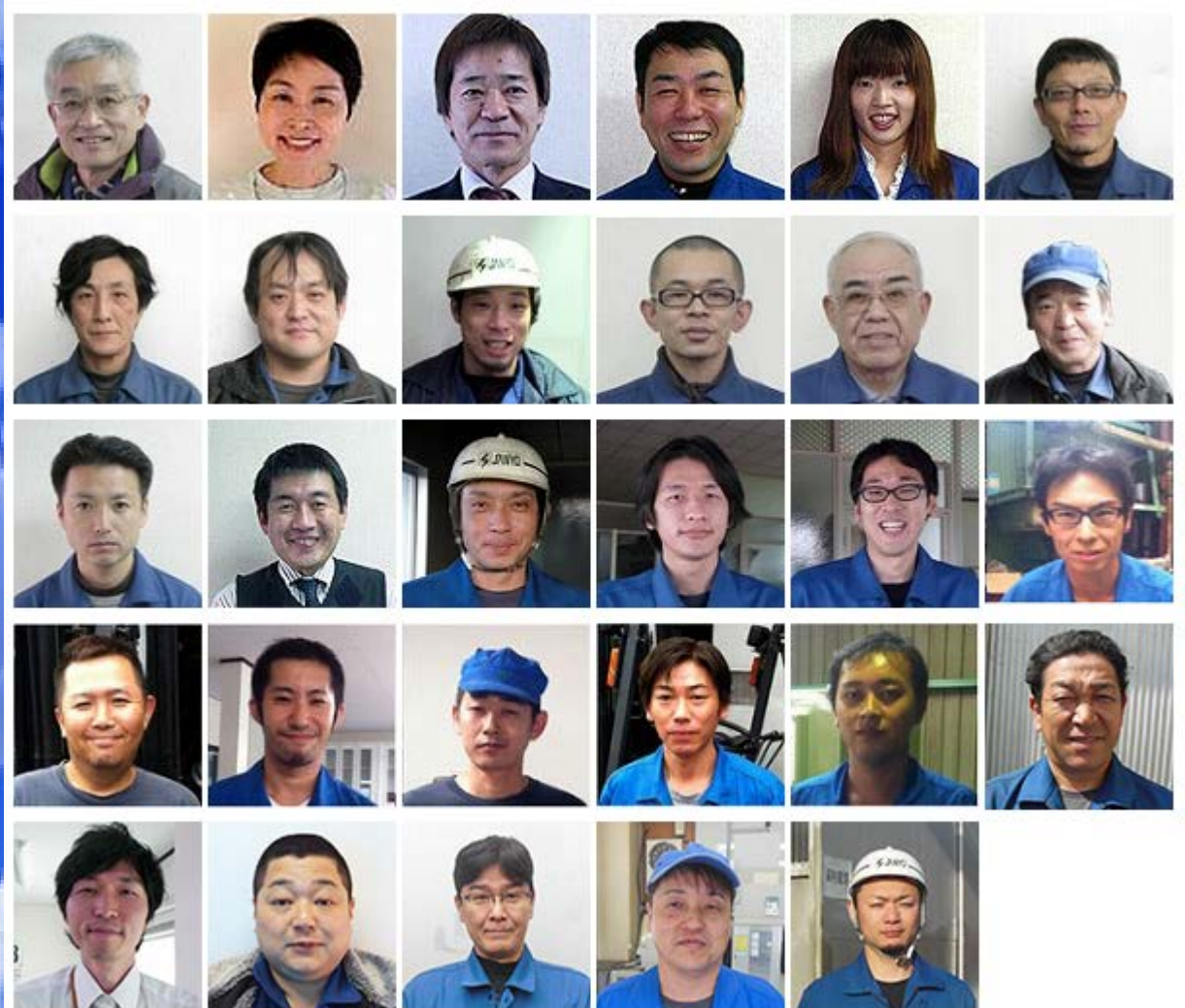
山陽製紙株式会社 代表取締役

原田六次郎

環境活動の紹介

eco(エコ)検定

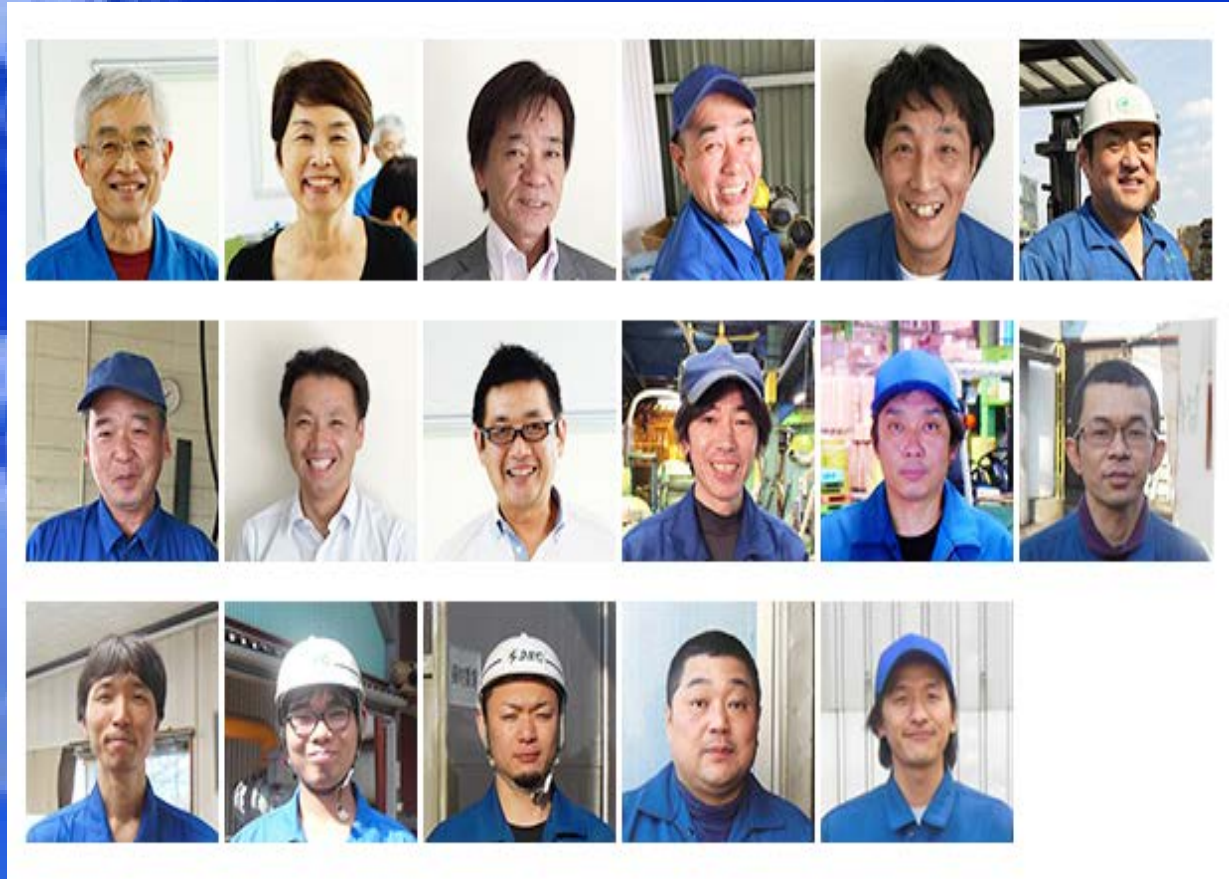
エコピープルがつくる
エコな紙。
エコ検定合格者、
2016年1月現在 29名。
今年は4名の仲間が
増えました。



環境活動の紹介

CSR検定

エコピープルから
CSR検定合格者へ。
我が社のサステナビリティ
の取組みの為に、
全員合格を目指します。
2016年3月現在 17名。



これからも「エコ検定・CSR検定」の全社員合格を目指します！

環境活動の紹介

アドptrバー 男里川

地元河川を毎月清掃し、
ゴミが無い綺麗で、魚や
鳥の住みやすい環境を
創る為に、地域の皆様
と協力して、
毎月第2日曜日、朝8時
から活動しています。
場所は男里川、弊社は
その川沿いにあります。



環境活動の紹介

火災防止訓練

毎年1回、数時間ではありますが、地元の消防署に協力を要請し、火災防止の為の訓練を実施しています。

普段出来ない消化ポンプの操作や、実際に消火器(中は水)を使って火を消す練習など、緊急事態に備え、活動しています。



これからも定期的な訓練・体験実習を計画し、活動していきます！

環境活動の紹介

リサイクル運動



アルミ・スチール・ペットボトル・キャップに
分別し、資源回収を行っています。
キャップは2年前から回収を始め、
現段階で、6700個リサイクル業者に提供。



紙資源の回収は、社員宅の物も含め、
定期的に分別回収を行い、製品原料と
して使用中。
段ボール・雑誌・新聞紙・コピー用紙など。

環境活動の紹介

3S活動

3S活動とは、「整理・整頓・清掃」を仕事の一環として、安全性・効率性を考え、会社全体の環境改善に取り組む活動です。

汚れる頻度の多い場所の仕組みを変え、汚れない環境にしたり、数工程ある仕事の流れを短縮出来るように改善したり、危険な場所があれば、修繕や補強・看板設置などにより安全な環境を確保する活動です。

毎年関西では、3Sサミットというイベントが開催され、弊社は毎年参加しております。

3Sは全社員で共有する活動として、これからも継続していきます。

～3S改善報告書より～



循環型製品の紹介

KAMIDECO (カミデコ)
&
SUMIDECO (スミデコ)



産業廃棄物



炭の粉末に焼成



100%再生紙に抄き込む



「Sumideco Paper」完成



SUMIDECO – スミデコ (梅炭紙) 環境に配慮したロハスな紙

<http://www.sanyo-paper.co.jp/sumideco/>

和歌山県みなべ町で収穫された梅の種 (廃棄物) を炭化し、粉に粉碎、「パルプ・炭・水」で製造した、地球に優しい100%リサイクルした紙です。

「ロハス」とは、Lifestyles Of Health And Sustainabilityという意味です。『健康や環境問題に関心の高い人々のライフスタイル』という意味です。「安価」「効率化」という従来型の選択基準とは異なり、「それは自分や他人のカラダに悪い影響を与えないものか?」「それは地球環境にとってマイナスにならないものか?」を前提に、消費や行動を選択していくライフスタイルです。この紙は、そんなロハス的な発想のもと創られております。

特徴としまして、弊社抄き込み技術は、製造時に炭の歩留まりがよく、機能性を損わずに紙と混ざる事で、製品となった紙は、消臭・環境ホルモン吸着・調湿等の効果があります。



ブックカバー

靴に使用する
ecokukku (エコクック)
(消臭・調湿)



循環型製品の紹介

KAMIDECO (カミデコ)
&
SUMIDECO (スミデコ)



KAMIDECO - カミデコ -
紙ごみを資源に変える100%再生紙サービス

<http://kamideco-web.jp/>

ブックカバー

ノートや名刺、封筒など

KAMIDECOの仕組み

企業で不要になったコピー紙を回収し、100%再生紙を作り、紙製品にして回収元の企業様や一般のお客様に提供いたします。



100%再生紙ができるまで

オフィス古紙を紙漉き職人が環境に配慮しながら手間暇かけて、素朴で風合いの良い上質な100%再生紙に仕上げています。



環境トピックの紹介

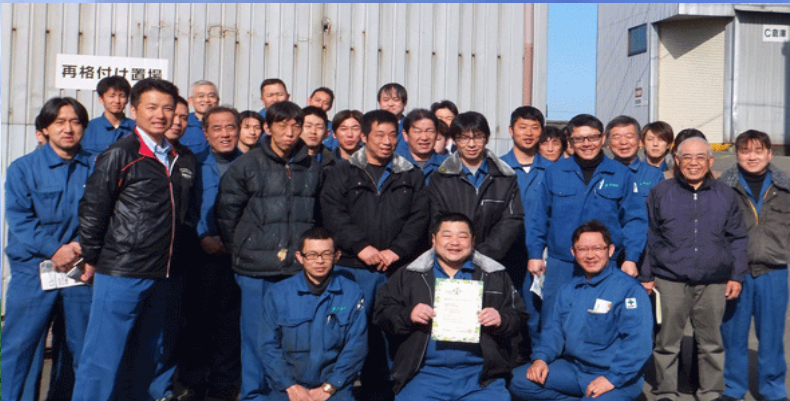
グッドライフアワード

第1回Good Life AWARD(グッドライフアワード)にて
審査委員長特別賞「環境と企業」特別賞を受賞いたしました。

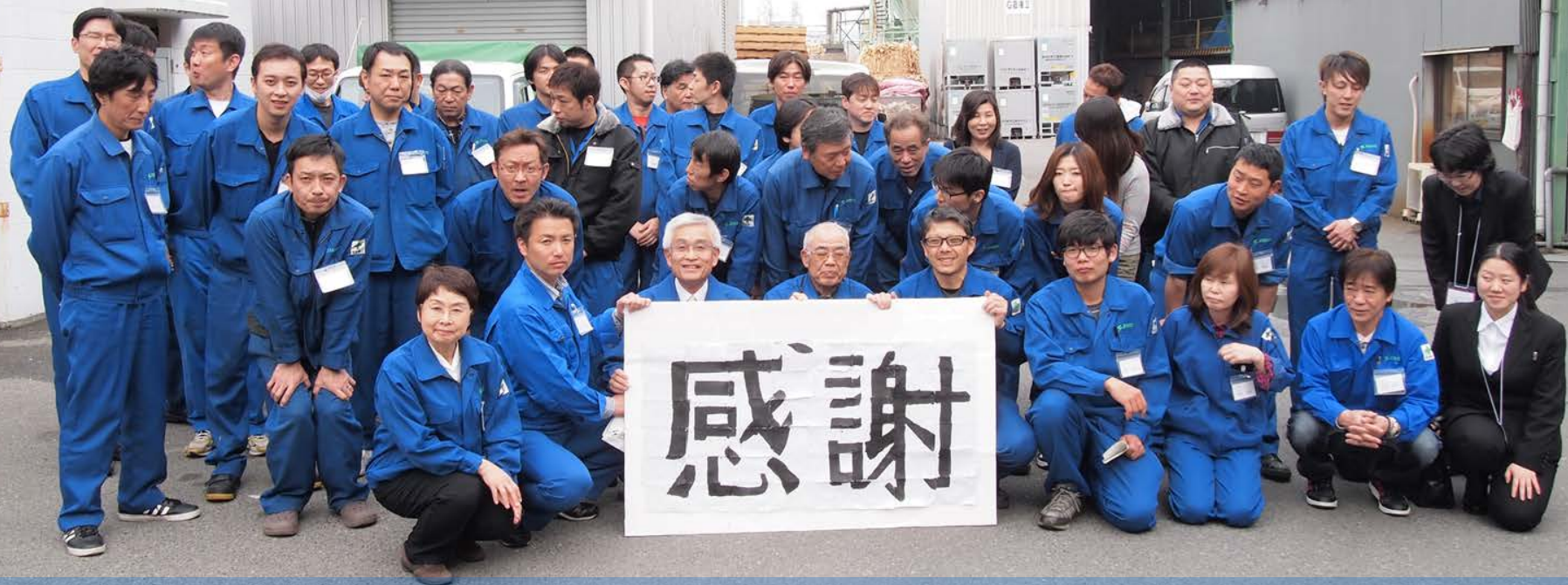
審査員から

「自分が出した紙がリサイクルされてまた戻ってくるというクローズドループにより
回収元の従業員の意識が変わる可能性がある素晴らしい取り組みです。
これまで混ぜ捨ててしまっていた紙資源をきちんとリサイクルできることを知ってもらい、
さらに使ってもらうことで無駄をなくす第一歩につながる取り組みだと思います。」
とコメントを頂きました。

今後も山陽製紙のKAMIDECO(カミデコ)は、
「地球を想う人と企業のための つながるエコ100%再生紙サービス」を、
企業や皆様の身近な存在になるように事業を進めてまいります。



最後まで御覧頂きありがとうございました。



これからも「自然を守る活動」や
「地球環境負荷低減活動」に更なる向上心を持って、
全社員で積極的に取り組みます。

山陽製紙株式会社 2014